

●グループ発表・まとめ

各グループからテーブルトークの内容の発表があり、最後に講師の延藤氏が以下のようにまとめました。

○今後に向けてのキーワード

- せ 狭い道、歩くアプローチを活かしつつ、駐車場整備のメリハリも。
- と とりわけ、木造の魅力の明治・大正・昭和の時代毎の価値継承。
- ら ランラン！ワクワク！多世代も海外の人も集える核となる施設、居場所。
- し 市民に広くこの場所の価値が分かるよう、周知と、周りつつなく活動。
- く くちすぎている空間を構造的・機能的・デザインの的にしっかり再生しよう。
- は 博物館の様な、陶器文化・流通の仕組み・体験型で伝承の場に。
- ぐ グルメ・コンサート・アート・商い等、各棟、各部屋の良さを活かそう。
- く クリエイティブな場を求めて来る海外ファン等の宿泊の場に。
- も もくもくと働ける雇用の場となり、地域経済の循環の場に。
- う 内から元気に、外に開き、意味あることを実現できる対話と協働。

 **瀬戸らしく育もう！**

頭文字を縦に読むと「瀬戸らしく育もう」となりました。平成 29 年 3 月 12 日（日）の第 2 回では、第 1 回の話し合いを踏まえて、さらに掘り下げた話し合いをしましょう。

●アンケートから（抜粋）

1. 幻燈会で印象に残ったこと。

- ・ 一度目を瀬戸から海外へ向けたことで、客観的な視点ができとてもよかった。
- ・ 幻燈会のイタリアの高齢者の生き生きとした姿に多くのヒントがあるように思いました。
- ・ 延藤先生のまとめる力があって、今後に繋がっていくことができると思った。
- ・ 行政の姿勢が市民参加を真のものにしていく方向をみせていたのが良い。
- ・ ポロをお宝にどうかえる？多くの方にどう伝えるかの話しだった。
- ・ イタリアの話が参考になった。
- ・ コミュニティづくり。
- ・ いきいきとした高齢者の印象。
- ・ 瀬戸市にもポローニャのような場所があったら良いけれど、歩いて行ける所にほしい。
- ・ 延藤先生のお話が聞いて良かったです。
- ・ 先生のイタリアのお話から、の流れから、外国の方から学ぼうということが頭にうかびました。外から中へ、です。瀬戸だけでは発見できないと思います。

2. 現地説明で気づいたこと。

- ・ 建物の説明が聞いて、より深く理解できた。
- ・ 歴史・過去の話がすばらしい。
- ・ 親切で丁寧な案内でした。
- ・ 土地の広さと建物の広さが良かった。

- ・ とても良かった。

- ・ たくさんの人に見に行ってもらいたいです。
- ・ 回を重ねるたびに気づくことが有り、回数を重ねることがいいネ。

3. テーブルトークや発表会で気づいたこと。

- ・ 短時間でたくさんの意見や思い、アイデアが出てとてもよかった。
- ・ 延藤先生によるまとめがあり、全体像と課題が明確になりよかった。
- ・ 人の想いの熱さ、前向きな人ばかりでした。
- ・ とても充実していました。
- ・ いろいろ活動している人の話し合いはいつも勉強になります。
- ・ 先生のまとめがよかった。
- ・ たいへん勉強になりました。
- ・ 瀬戸愛にあられる方が多くいらっしゃるんだなと感じました。
- ・ みなさんの意見がきけました。
- ・ 大勢の意見を聞いていい。

4. その他

- ・ 先生の最後の「オチ」がたいへんおもしろい。
- ・ 良かったと思います。
- ・ 「せとらしくはぐくもう」のキーワードを導き出すことができた。新しい気づきがあった。